

## 今月のことば

人間は  
偉いもの  
ではない  
尊いもの  
です

(安田理深)

龍谷大学非常勤講師

小池秀章 こいけひであき

「人間は偉い」と言った場合は、「人間は、他の生きものとは比べて、優れている」という意味になります。しかし、本当に人間は優れているでしょうか？確かに、道具を使ったりすることができるといふ点から言えば、他の生きものとは比べて、優れていると言えるでしょう。しかし、さまざまな道具を作り出すことによって、自然を破壊したり、戦争をしたりしているところを見ると、とても、優れた生きものとは思えません。

それに対して、「人間は尊い」と言った場合は、「優れている・劣っている、できる・できない、役に立つ・役に立たない、などを超えて、人間は、かけがえのない大切なものであり、敬うべきものである」という意味になります。

つまり、「偉い」とは、比較の上で語ったもので、相対的なものであるのに対し、「尊い」とは、他との比較ではなく、絶対的なものなのです。

人間は、他と比べて偉いのではなく、尊いのです。さらに言えば、いのちの尊さという面では、人間も、一匹の虫も、一本の草も、全く同じなのです。私は、私以外の全てのものによって、私として存在しています。そのような意味で、私の中に、私以外の全てのものが含まれていると言えます。私は、そのような無限の意味内容をもつ尊いいのちを生きているのです。それは、一匹の虫も、一本の草も全く同じなのです。

「人間の偉さ」ではなく、「人間の尊さ」「いのちの尊さ」を忘れないでいたいと思います。

合掌